

# 令和6年度学校関係者評価報告書

虹の原特別支援学校壱岐分校

## 1 評価の方法

- (1) 4名の学校関係者評価委員を対象に紙面によるアンケートを実施
- (2) 評価の基礎となる資料
  - ① 学校評価結果（職員による自己評価及び保護者による評価）
  - ② 学校関係者評価委員会における学校評価にかかる説明及び今年度の学校の取組に係る報告

## 2 実施期日

令和7年2月14日（金）

## 3 学校関係者評価委員による評価

### (1) 評価基準

4: 適切である      3: ほぼ適切である      2: やや適切でない      1: 適切でない

### (2) 評価結果

1 学校・各部等の重点目標や自己評価の評価項目は適切であるか。	評 価
・いずれも適切である。 ・学校が良好な居場所になっている。 ・今後に向けて、項目設定→アンケート実施→結果のまとめ→分析→公表資料の作成と大変な仕事量である。もっと絞り込んで仕事量を減らしていくことも取り組んでほしい。	4.0
2 自己評価内容及びアンケートの評価結果は適切であるか。	評 価
・学校の環境、生徒等の意識向上と自発的行動、対外的活動の広がりやつなぎ方は、十分な成果と結果である。 ・いずれも適切である。 ・多大な業務の中、細やかな分析と評価がされている。	4.0
3 自己評価結果を踏まえて、今後の改善に向けた姿勢が感じられるか。	評 価
・十分に感じられる。特に先生方の協力や働きやすさという点では、昨年度よりも向上している傾向がよく見えた。 ・研修会、学習会などに参加して自身の力量UPに努め、適宜見直しや調整を含め、有機的に対応されている。	4.0
4 学校は運営や教育活動、教育環境の充実に向けてよく取り組んでいるか。	評 価
・学校評価のかもしれない空気感、保護者の方の声、何より子供たちの姿から、その努力と頑張りが十分に伝わる。 ・部活動などにおいて新たな挑戦の機会を与え、児童生徒の自主性と積極的参加を育み、前向きに自立につながる活動が根付きつつある。	4.0
5 総合評価について	評 価
・日々、校長先生をはじめ、諸先生の努力を顧みることができる。通常の学校以上に気を払い、異なる問題も多い中、例年より多くの他校からの相談に対応される力量と対応能力、信頼関係づくりには感銘を受ける。 ・学習発表会や運動会等において、子供たちに対応されている先生方の表情が穏やかで、毎回温かみを感じた一年だった。	4.0